



發願文

ほつがんもん

願ねがわくは弟子等でしどう 命終みまうじゆうの時に望こころてんどうんで心顛倒しんてんどうせず 心錯乱しやくらんせず 心失念しつねんせず
 身心しんじんに諸々もろもろの苦痛くるう無く 身心快樂しんじんけらくにして禅定ぜんじやうに入るが如ごとく
 聖衆現前しやうじゆげんぜんしたまい 佛ほとけの本願ほんがんに乗じて
 阿彌陀佛国あみだぶつこくに上品往生じやうほんおうじやうせしめたまえ
 彼かの国くにに到り己おのつて 六神通ろくじんずうを得て
 十方界じつぽうかいに入かえつて苦の衆生しゆじやうを救摂くしやうせん
 虚空法界こくうほうかい尽つきんや我が願がんも亦是またかくの如ごとくならん

發願し己んぬ

至心に

阿彌陀佛に

歸命したてまつる

南無阿彌陀佛

為

祈願

願主

敬写

令和

年

月

日



阿彌陀如来立像

筆用